

「伊達市健幸なまちづくり協議会」（伊達市）（令和2年度）

ふくしま自治研修センター
総括支援アドバイザー兼教授 奥原 英彦

「伊達市健幸なまちづくり協議会」（伊達市）（令和2年度）

伊達市では、市民ひとりひとりが健康で幸せな生活を送るため、「健幸都市」の実現を目指して、さまざまな取り組みを進めている（注1）。

「伊達市健幸なまちづくり協議会」は、この健幸なまちづくりを円滑に推進するため、健幸なまちづくりのあり方、施策その他健幸なまちづくりに関する協議をする場として、平成26年度から開催されている。

（注1） 伊達市健幸都市への取組み（伊達市ホームページ）

： [健幸都市の取組み - 福島県伊達市公式ホームページ \(fukushima-date.lg.jp\)](http://www.fukushima-date.lg.jp)

令和2年度、奥原は協議会の会長として、（令和元年度に引続き）下記の支援を行った。

(1) 「協議会」の「運営」（8/5）

（コロナ禍のためリモート参加。進行は副会長に担っていただいた）

(2) 上記 (1)の協議会における各委員発言の総括と政策展望

1 日常生活で「自然と健幸になる」ように、健幸時空間を再整備する。

（例1、マルシェに加えて野菜作りの方の「朝市」を開催。例2 既存の生活道路を買物や遊びなどに市民に開放する）

2 市民の健幸活動を「個別分断型」から「全世代交流型」へと再設計する。

（例1 子供の遊びを（安全のため）高齢者が見守る。例2 若い頃からの（健幸づくりに向けた）積重ねの重要性を世代間で共有する）

3 健幸なまちづくりを「横連携型で重点づくり化」し市民から「見える化」する。

（例1 健幸教育⇒教育委員会と連携。例2 健幸産業⇒産業部門と連携。

例3 健幸都市⇒都市計画・土木部門と連携）

以上